

むかいだ

向田遺跡(本発掘調査A・B)

所在地 安城市東町地内  
(北緯34度55分3秒 東経137度5分51秒)

調査理由 中小河川改良事業(鹿乗川)  
調査期間 平成29年10月～平成30年1月  
調査面積 1,524㎡  
担当者 酒井俊彦・樋上昇



調査地点(1/2.5万「西尾」)

調査の経過 発掘調査は、鹿乗川の改修工事に伴う事前調査として、愛知県建設部河川課知立建設事務所より愛知県教育委員会を通じた委託事業としておこなった。

立地と環境 向田遺跡は碧海台地東側の縁辺に位置し、矢作川右岸の氾濫原平野に立地する。上面での遺構検出面の標高は約7.5mを測る。

調査の概要 向田遺跡は岡崎市南西部から安城市南東部に展開する鹿乗川流域遺跡群の北群と南群のちょうど中間に位置し、平成12年度に安城市教育委員会によって実施された発掘調査において、その存在が確認された。また同年度におこなわれた愛知県埋蔵文化財センターの範囲確認調査においても遺構の存在が確認され(今次調査の110SKがそれにあたる)、その遺構が存在する区画1,500㎡を今回、本発掘調査Bとして実施した。また、遺跡の南方への広がりを確認するため、本発掘調査Bに先だって24㎡(4×3mトレンチ2ヶ所)を、本発掘調査Aとして掘削した。

その結果、厚さ約0.5mにおよぶ暗茶褐色土～黒色土の堆積層を境に、上面—中世～近世、下面—古墳時代初頭～前期の2時期の遺構面を確認した。

上面遺構 上面遺構は溝と土坑からなり、溝は北で20～25° 東に振れた、現在の鹿乗川とほぼ同じ軸線に乗っている。南北方向の溝03SDが調査区を南北に縦断し、北でそれに直交する03SDに接続する。



向田遺跡 遠景(南より)

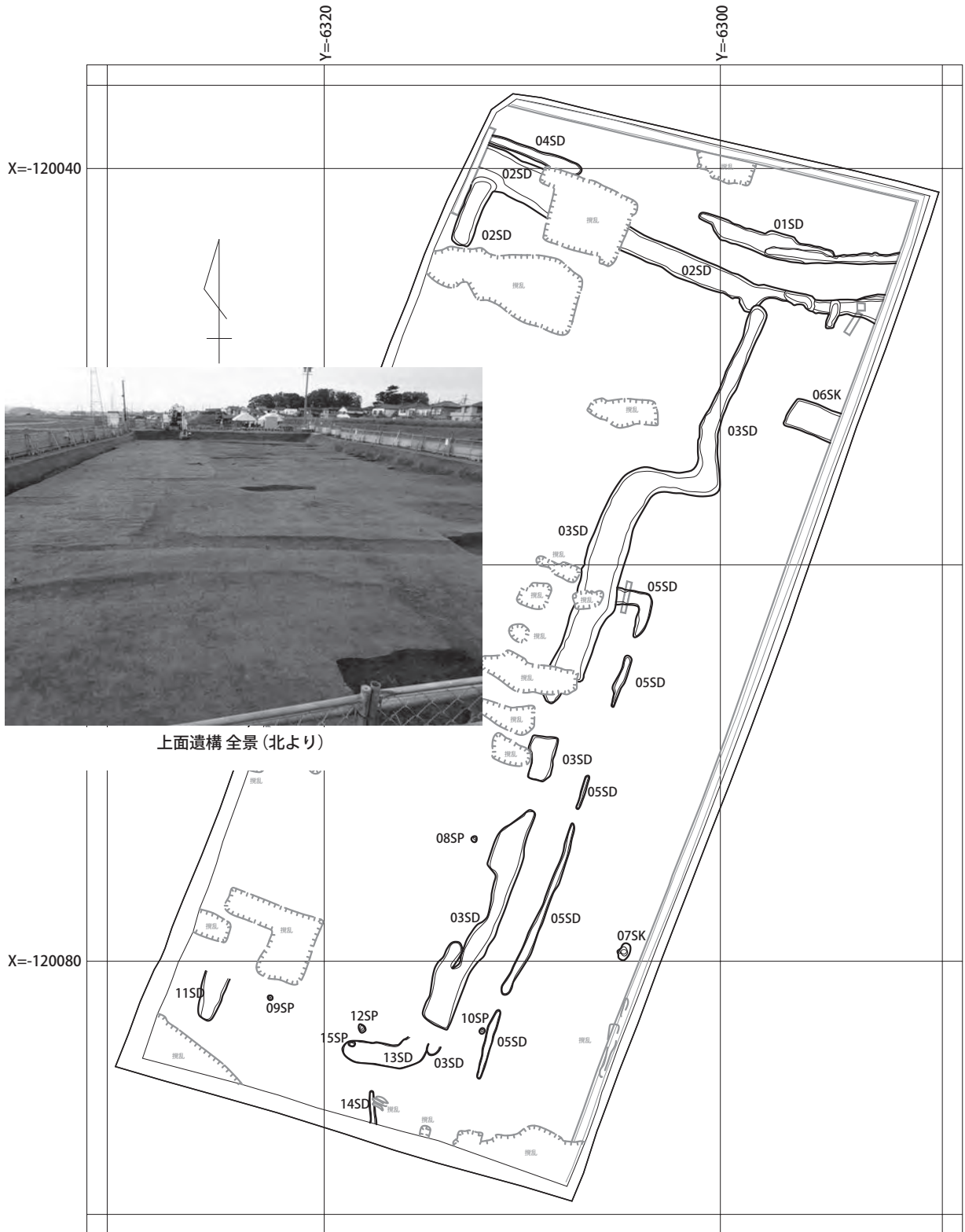


図1 上面遺構全体図 (S=1:300)

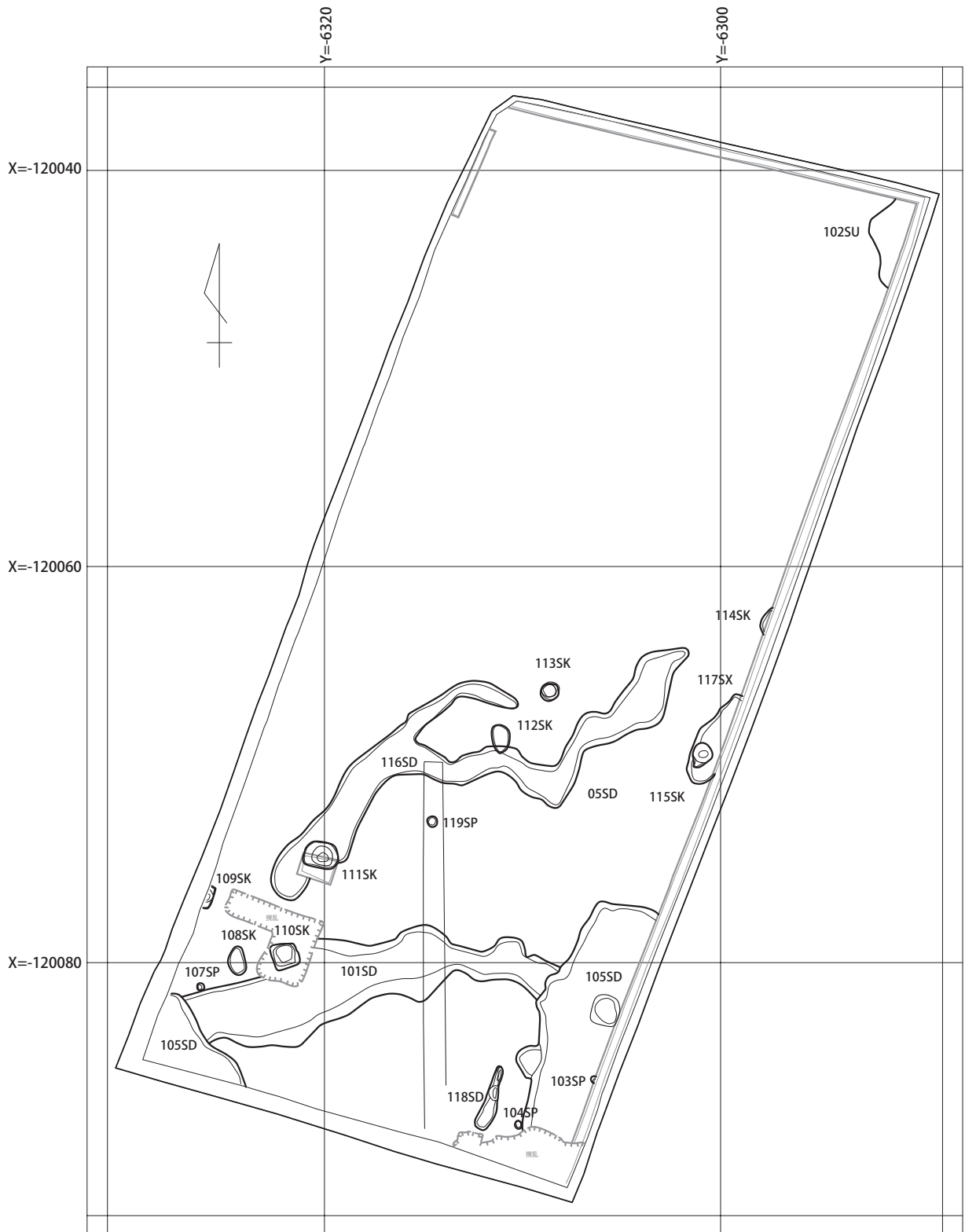


図2 下面遺構全体図 (S=1:300)



**下面遺構** 下面遺構は、調査区のほぼ南半部だけに展開する。かつての鹿乗川の流路の一部とみられる105SDが調査区南東隅を北東から南西方向に走り、ここからオーバーフローした流路の痕跡とみられる溝101SDと116SDが、やはり北東から南西方向に伸びている。これら溝群のうち、101SDと105SDの最上層からは古墳時代前期を中心とする土器片が少数出土している。

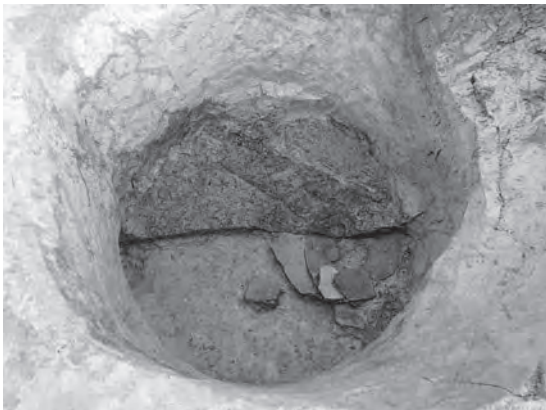
また、これら溝群と重複して、8基の土坑を確認した。うち、110・111・113SKからは、古墳時代初頭～前期とみられる土器群が出土している。なかでも111SKからは木質遺物とともに、上層と下層に分かれて甕が出土しており、特に下層の完形の甕2点が注目される。



110SK 遺物出土状況 (北東より)



111SK 遺物出土状況1 (南より)



113SK 遺物出土状況1 (北西より)



111SK 遺物出土状況2 (南より)



113SK 遺物出土状況2 (北東より)



111SK 遺物出土状況3 (南より)

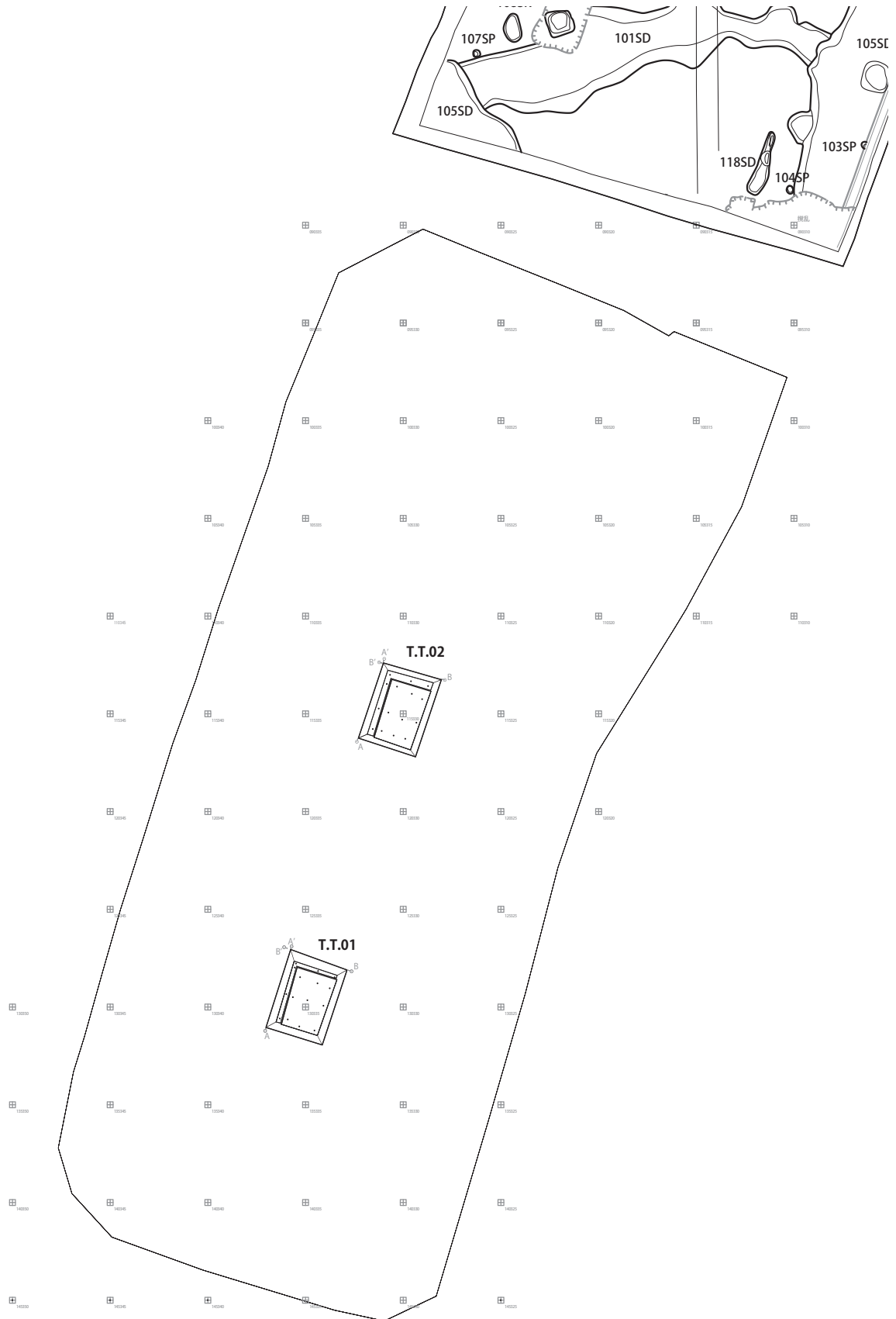


図3 本発掘調査Aトレンチ配置図 (S=1:300)

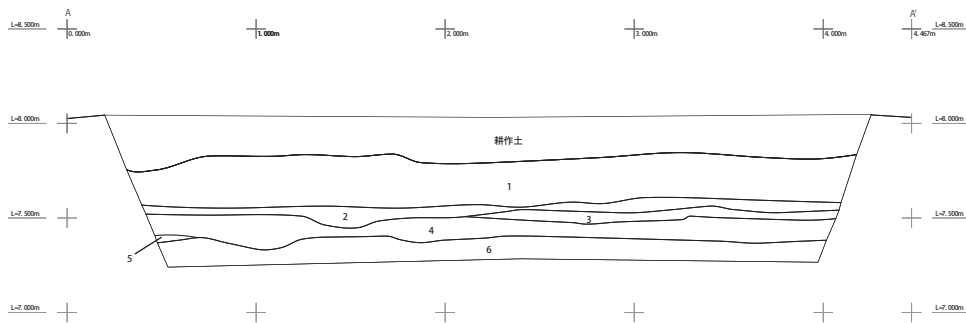
さらに、調査区の北東隅には地山面の高まりがあり、ここからは屈折脚高杯を含む古墳時代前期後半を主体とする土器集積(102SU)を確認した。この土器集積と南の土坑群との関連性は明確ではなく、むしろ102SUより北東側に伸びていく微高地の存在が想定される。

**本発掘調査A** 本発掘調査Aは、前述のように本発掘調査Bの調査区の南に接する区画において、4×3mのトレンチを2ヶ所設定して掘削をおこなった。

結果、T.T.01・T.T.02の両トレンチともに、本発掘調査Bにおける下面遺構の地山面に相当する灰黄色砂質シルト層の上面にて精査をかけたが、遺構は確認できなかった。

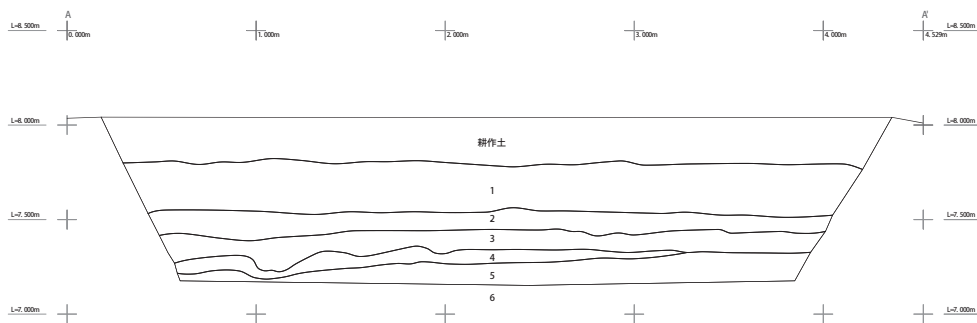
また、その上層で、本発掘調査Bでは下面の遺物包含層に相当する暗灰黄色砂質シルト層からは若干の遺物が出土しているが、黒褐色シルト層からの出土は無かった。

これらのことから、本発掘調査Bの南半部で確認した土坑を主体とする遺構群の広がり、南の本発掘調査A地点にはおよんでいなかったものと考えられる。(樋上 昇)



**T.T.02**

- 耕作土 2.5Y4/1 黄褐色粘質土
- 1層 2.5Y5/3 黄褐色シルト 鉄分含む
- 2層 2.5/5/2 暗灰黄色シルト 鉄分含む
- 3層 10YR3/2 黒褐色シルト 鉄分含む
- 4層 2.5Y7/2 灰黄色砂質シルト 鉄分3層より少ない
- 5層 5Y6/2 オリーブ灰色細粒砂
- 6層 10YR4/1 褐灰色粗粒砂



**T.T.01**

- 耕作土 2.5Y4/1 黄褐色粘質土 雲母細粒含む、2層よりも鉄分少ない
- 1層 2.5Y5/3 黄褐色シルト 鉄分含む
- 2層 2.5/5/2 暗灰黄色シルト 鉄分含む
- 3層 10YR3/2 黒褐色シルト
- 4層 2.5Y7/2 灰黄色砂質シルト
- 5層 5Y6/2 オリーブ灰色細粒砂
- 6層 10YR4/1 褐灰色粗粒砂

図4 本発掘調査Aトレンチ土層断面図 (S=1:40)